

おはな

平成13年 西田
生ごみリサイクル事業
受託者 有機の星川西

生ごみ
生かします!



人口の動き
—2月1日現在—

男	4,077 (-3)
女	4,187 (+1)
計	8,264 (-2)
世帯数	2,296 (-3)

() は前月比較

◆表紙の写真◆

生ごみリサイクル事業に参加している皆さんから集まってもらいました。

黄色、赤、ピンクのスポンをはいた、ちょっと見かけない人たち（前列中央）が見えます。県の広報番組制作のために取材に訪れたレポーターの皆さんで、その名も「ゴミレンジャー」といいます。「ごみ」という結構重い課題を、親しみやすいものにするために、今回初めて結成されたとのこと。

何も知らずに出くわしたりするとびっくりするようないでたちですが、地道な活動の中に入ってレポートするには効果的なようです。実際、インタビューを受けた人たちは、彼らと一緒に動けたため、かえってカメラを意識しないで済んだようです。

3月末の放送（NT21／水曜夜）にその成果が見られます。期待しましょう。（詳しい時間等は3月号でお知らせします）

特集

生ごみリサイクルの風

家庭から毎日出る生ごみ。この生ごみを堆肥にリサイクルする活動が軌道に乗りはじめています。

この活動は、試験的な取り組みや、先進地の活動事例を学ぶ事業などを経て住民有志の取り組みから始まりました。町も、生ごみの減量・資源化を目指していることから支援を進め、平成十三年度からは「新世紀かわにし創造事業」のひとつに位置づけ、委託事業費約六百万円を計上して取り組みを支えています。

そして、実際にこの事業を運営しているのは、家庭の主婦やお年寄り、有志のボランティアなどの人たちです。その内容とこれからの展望を取材しました。

それは、有志の声から始まった

町では、平成十一年度（平成十一年度）に生ごみの堆肥づくりを試験的に開始しました。十二年度には、住民のま

づくりへの参加と学習の場として設けた「まちづくり塾川西結」の活動の中から、「生ごみを収集して堆肥化する事業に取り組みよう」という声があがり、有志のボランティア活動がスタートしました。

有志の会では、町から百万円ほどの委託料を得て電動生ごみ処理の実験機を借入れし、十二月から三月までの四か月間、二四〇あ

まりの世帯から生ごみを収集して処理しました。その結果、一四〇

の生ごみから四〇の堆肥をつくることに成功しました。

この事業の継続を望む声が多いことから、町では平成十二年、三年間特別枠の「新世紀かわにし創造事業」に位置づけることとし、「有機の里川西（上村源司会長）に約六百万円で事業を委託しました。委託料には、生ごみ処理機のリース経費、施設整備費（給排水設備等）、人件費（シルバー人材センター）、光熱水費、燃料費、除雪費など、運営に係るすべての内容が含まれています。

右機の里川西では、これをもとに、上野機械施設利用組合内の倉庫で、昨年六月から家庭生ごみなどを収集・処理しています。高温発酵菌の働きで、二十四時間に約五百kgの生ごみを処理する能力が

ある電動生ごみ処理機で、夏期は週四日、冬期は週六日活動しています。

処理しているのは、家庭生ごみを中心に、飲食店や鮮魚店、豆腐店からの事業系の生ごみ、豚糞も一部含まれています。

六月から十二月までの生ごみの処理量は五四・三ト、堆肥仕上がり量は一〇・五トで、仕上がり率は一九・三%でした。

生ごみは、こうして堆肥になる

生ごみから堆肥になるまでを追ってみました。

①家庭の台所から出る生ごみは、シンクや生ごみ用ザル、水切り

— contents — 主な内容 — contents —

- P2~5
- ⇒ 特集 生ごみリサイクルの風
- P6~7
- ⇒ 確定申告・様式が変わります
- P8~11
- ⇒ 真剣に考えよう合併について
- P12
- ⇒ ミニ特集 どうなるの小正月
- P13
- ⇒ おらムラの話
- P14~15
- ⇒ お知らせコーナー
- P16~18
- ⇒ まちの話題・だんだんどーも ほか
- P19
- ⇒ 俳壇／くらしとけんこう ほか
- P18
- ⇒ ちいさな展覧会・戸籍・いっぶく

町民のモラルの高さが支えに

毎日、ボランティアとして作業に従事している有機の里川西会長の上村源司さん（76／下平新田）と、事務局の富井富子さん（42／上野）に伺いました。

「これまで活動してきたの感触はいかがですか？」

上村 まあ、順調に推移していると思います。

今、われわれが取り組んでいるのは、ごみの減量対策の一環として「生ごみリサイクルの試験」を、委託を受ける形で行っているものです。本格導入をするためのデータ集積をしているわけですが、その意味では、多くの方々の協力もあって大変うまくいっていると思います。会員も増えているし、生



富子さんと源司さんが事務処理を一切まわす

ごみの分別もいいですよ。

富井 地域で顔が見える関係だということが大きいですね。視察に訪れた方々も、町民のモラルの高さに驚いています。ふるい分けされた異物にしても、半年間でこれだけ（写真参照）ですから、少ないと思います。あと、全町約400世帯が参加していることもビックリされます。地域ぐるみで実施しているところで100世帯をこえているところは少ないようです。



半年で出た異物は全部でこれだけ

「どうして家庭生ごみと事業系生ごみを混ぜているのですか？」

上村 地区によっても差があるのですが、家庭の生ごみは野菜くずが圧倒的に多いわけです。野菜くずだけだと発酵菌の養分が足りなく、できた堆肥も栄養価が低くなります。そのため、おからや魚のアラ、飲食店の残飯、豚糞、廃おなどが混ざって脂質やタンパク質を補っているわけです。いわば、成分の調整剤がわりですね。

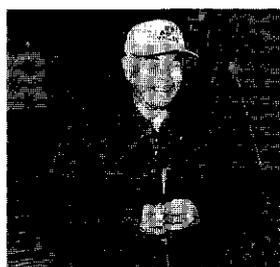
富井 事業系のものは、配達の中や合間を見て自己搬入してもらっています。役場の担当職員からも、運搬や洗浄作業などを手伝ってもらっています。こういう協力関係が事業の潤滑油になっていると思います。

堆肥の品質は高い

「どういうデータを集めているのですか、またその結果は？」

富井 当日の気象データから、生ごみ、おからや豚糞、廃おがの投入量（重量）、仕上がり堆肥の量、使用電力量などを記録しています。また、堆肥の成分分析も行っています。

経費としては、シルバー人材センターに支払う人件費が最も多く、次いで処理機のリース料、設備工事費、燃料費、光熱水費、備品購入費などとなっています。これらをベースに各項目や全体の評価をし、次のステップに生かしていきます。



「まあ続けていかなんか笑」上村会長のおだやかな顔が全体を包みます

上村 有機肥料の主成分である有機態炭素のほか、窒素、リン酸、カリの三要素もバランス良く含まれていて、良好な堆肥になっていると思います。

今後は、これを学校田や花壇、道路脇の花の植栽など、みんなの目にとまる場所に使うて成果を試したいと思っています。

また、町内四地区に試験展示場（実証ほ／水田）を設けて、どういう条件のところにとれだけの量使うと、どういう効果があるのかを、実際に検証したいと思っています。

「何か問題点や、今後の課題はありますか？」

上村 それほど大きな問題は無いのですが、作業をしていく過程を高齢者や女性の腕力でもできるものにするには、どうしても必要な機器が出てきます。たとえば、生ごみを処理機に投入するためのリフトのようなものや、固まりを砕く破砕機、ふるいわけをする機械、堆肥をペレット（粒状）化させるための機械などです。これらの導入がかなえば、作業効率はずっと上がると思います。

富井 分別は、今のままでもかなりいいのですが、さらに高めるために、新たに加入される方々にそのあたりを伝えていく必要がある

と思います。

生ごみは水分が80%です。少しでも水分が少ない方が、良質な堆肥が早くできます。そのためには、家庭での生ごみの水切りをさらに進める必要があります。水切り用のバケツの工夫とか容器の検討も大事な要素だと思います。



和やかに進められたテレビ取材

ダイエットにも効果がある？

参加している家庭や、ボランティアの皆さんの声も拾ってみました。（敬称略）

清水ユリ（発電所通り東） 夏、生ごみを畑に入れてもタヌキが掘るし、燃やすごみに出せば無駄が出るだけだし、堆肥にしても出るのはありがたいことです。やる人たちは大変でしょうが、会員がもっと増えてほしいですね。
星名八重子（上野） これに参加してから、なるべくごみを出さないように、買い物なんかも注意す

るようになりましたね。うちの脇に容器を置いてもらっています。近所の皆さんからも喜ばれています。

小林正信（中仙田） シルバー人材として参加していますが、仕事の量も時間もそれほど負担になりません。ちょうどいやんじゃねべかの（笑）。

村越由喜・滋野敏子（野口） ボランティアとして計量や袋詰め作業を手伝っています。結構いい汗がかけて、ダイエットにもいいですよ（笑）。堆肥が花や野菜づくりにどういう効き方をするのか、楽しみながら試したいと思います。高橋フミ（中仙田） 生ごみが堆肥になる、ということがうれいすね。畑に入れたら菜っぱが全然違うんで（良くなって）驚きました。

魚沼コシを超えなければ……

堆肥の今後の活用について、上村会長に再び伺いました。

上村 堆肥の活用という点では、これからの川西町の農業全体を考える必要があると思います。

そして、この地域の特性を考えれば、稲作に使えるものを作っていないとダメだということになります。

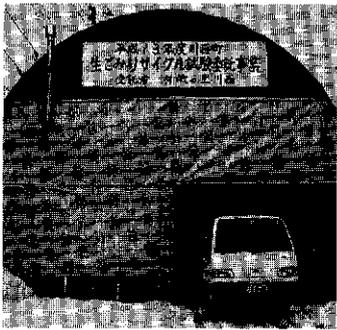
しかし、これまでに約10トンの堆肥が仕上がったわけですが、水田稲作の肥料に換算すると二・五割分しかなく、本格的な農業利用や一般頒布のためにはとても足りません。

稲作農業に本格的に利用するためには、どうやって安定的に一定量を作り、売り、使っていくかがポイントになります。一部の関係者だけでなく、町内の家庭全体や農家、生産組織、町、農協などが一体になって取り組む必要があると思います。

「魚沼コシヒカリ」というブランドにいつまでもあぐらをかいている時代ではなくなりました。

隣接する地域では、「魚沼コシ」以上の付加価値のある米づくりには必死になって取り組んでいるところが多いと思います。それが「有機」「減農薬・無農薬」栽培や、本格的な堆肥づくりへと結びついてきています。

この地域も早くそのことに気づき、取り組む必要があるのではないかと感じています。



農業用倉庫を利用した処理施設

現実もきちんと見つめよう

いでしょか。



視察見学への対応も大忙しでした

そのあたり、町ではどのような施策を考えているのでしょうか。

環境整備課 ここ数年の取り組みを通じて循環型まちづくりへの展望が見えてきました。平成十四年度も、五〇〇世帯の参加を目的に委託事業で生ごみリサイクルを進める予定です。

今までの家庭生ごみ、事業系生ごみなどのほか、学校給食の残飯も加えたいと思っています。そのために必要な機器導入や周辺環境の整備も検討しています。

そして、堆肥づくりの本格的取り組みを前提とした施設整備計画の策定や、実証ほ、研修会やアンケートといった普及調査活動も含

めた「エコタウン推進事業」に取り組む予定です。

農林課 環境保全型農業、あるいは持続可能な農業が盛んに言われるようになりました。これは、単に農業とか、環境とかという捉え方だけでなく、教育や商業も含めた大きな地域社会の問題でもあります。

まず、町として、地域としてこれにどう取り組むのかという、推進方針を立てて、各分野の進める方向を考えたいと思います。ポイントとなるのは、次の三点に集約されると考えています。

①地域全体への意識啓発を進める（ごく一部の意識の高さを周辺に広げていく）

②技術的な問題を整理する（土づくりや、減農薬・無農薬栽培等の研究と数値目標の設定）

③現状を見つめる（農薬の使用実態、マルチシートの処分方法の把握等）

平成十四年度は、こうしたことをきちんと整理していきたくと考えています。

ジャガイモの皮、魚の骨、リンゴの芯、ごくごく日常に出て、それ自体からはさして大きな物語は見えてきません。しかし、これが集まったとき、捨てるのか、燃やすのか、再利用するの

か、どの道を進むのかによって物語が変わってきます。

今、最後の道を進もうとしたとき、台所のくずが、農業・地球・命という大きな物語につながるようになっていきます。

ごみから堆肥を作って作物を植え、それを食べて生きていく。それが社会の常識になる。ある意味で、半世紀前には当たり前だったことに戻ろうということなのです。

しかし、今となつては、ある日突然切り替えるというわけにはいきません。

時間をかけて意識を変え、学び、試して、じつくりと腰をすえてやらなくてはならないのです。でも、動かなければ進みません。今年から、その風が吹きはじめそうです。



作業の合間のお茶が次の段取りのアイデアを生みます

所得税(国税)の確定申告は

2月18日(月)~3月15日(金)

確定申告が必要な方

正しい確定申告を

所得税の確定申告が始まります。申告期限は三月十五日です。しかし、期限間近になると会場が込み合い、落ち着いて相談できなかったり、長時間待たされたりします。また、申告書の様式が新しく変わりましたので(左ページ参照)、できるだけ早めにお済ませください。なお、二月二十四日(日)と三月九日(土)にも相談できますが、混雑が予想されますので、できるだけ平日においでください。

次のような方は、確定申告をしなければなりません。

- 事業をしている方、不動産収入、年金収入などがある方で、平成十三年中の所得金額の合計額が、所得控除の合計額を超えるとき
- サラリーマンで次のような方
 - ①給与の年収が二千万円を超える場合
 - ②給与や退職金以外の所得が二十万円を超える場合
 - ③二か所以上から給与を受けている場合で、年末調整をされなかった給与分とほかの所得が二十万円を超える場合



確定申告をしなければならぬ方が申告しなかったり、誤った申告をすると、後で不足の税金を納めるだけでは済まされなくなり、不足税額の一五パーセントまたは一〇パーセントの加算税が課されたうえ、延滞税も納めなければならぬこととなります。

消費税・地方消費税の確定申告をお忘れなく

個人事業者の方の消費税及び地方消費税の確定申告は、一月一日から三月三十一日までとなっております。消費税の課税事業者に該当する方は、できるだけ早めにお済ませください。

確定申告相談日程

期間	受付時間	会場
2月18日(月)	午前8時30分	活性化センター 4階第1研修室 ☎68-3111 (内線414)
	午前11時30分	
3月15日(金)	午後1時00分	
	午後4時00分	



住民税(町税)の申告を

この申告は、住民税などを計算するだけでなく、いろいろな証明資料に用いられる重要なものです。今年一月一日現在町に住んでいた方で、去年中に収入のあった方全員が対象となります。書き方は、お配りする「申告書の手引」を参考にしながら、正確に記入し、三月十五日までに役場税務課へお出しください。

納税は期限内に、振替納税制度

平成十三年分の確定申告による所得税の納期限は平成十四年三月十五日(金)です。早めにお済ませください。また、振替納税を既に利用されている方は、指定された預貯金口座の残高を確認しておいでください。

振替納税をまだ利用されていない方は、納税のための手数が省け、うっかり納期限を忘れてしまふこともない振替納税が、大変便利です。ぜひご利用ください。

手続きは簡単です。銀行、郵便局などの金融機関の窓口、税務署にお申し出てください。「お勧めします。安全で便利な振替納税を！」

所得税の申告書が新しく変わります

申告書A

申告書B

所得税の確定申告書が、二月十八日から始まる二〇〇一年分申告から全面的に改正になります。
四十四年ぶりの大幅改正で、複雑だった記載事項を簡略化、「コンピュータ処理」となります。新しい申告書は、これまでの分離課税用、「一般用」と六種類に分かれていた様式が、「申告書A」と「申告書B」の二種類となります。

申告書A

- ①給与所得や、公的年金などの雑所得、配当所得、一時所得だけの方
- ②従来の給与所得者の還付申告用

申告書B

- ①A様式に当てはまらない方すべての申告用
- (給与所得、公的年金などのほか、事業（農業所得等）や不動産の所得のある方及び予定納税額のある方が対象)

確定申告の手引きも新しくなりました
●申告書の書き方を分かりやすく説明し、計算できる欄を設けています。
●確定申告の手引きで計算し、申告書に転記してください。

OCR用の申告書の取り扱いにご注意ください
●丁寧に記入してください
申告書の入力方式のOCR化に伴って、数字を直接コンピュータが読み取るようになりますので、数字を記入する際には、黒のボールペンで指定のマス目に丁寧に記入してください。

折り曲げたり、汚したりしないでください
OCR用の申告書は、デリケートですから、ホチキスなどでどじ合わせたり、折り曲げたりなどしないようにしてください。
●確定申告書は、今までどおり各個人に送付されます。その時に所得税の確定申告の手引きなど説明資料が同封されますので、よく読んで間違いのない書き方で確定申告をお願いします。

【問い合わせ先】
十日町税務署（☎027-31801）
役場税務課住民税係（☎68-3111）（内線221）



今月号と来月号は、市町村合併に対する意識調査（アンケート）の結果についてお知らせします。

今回の内容は、概要を速報するもので、結果についての検討と寄せられた意見等については、次号に掲載します。

市町村合併に関する意識調査の結果速報

市町村合併の是非に関する方向性を検討するに当たっては、ここに住む人の考えがとて重要であることから、一月中旬に七〇〇人の方々に調査票（アンケート用紙）をお送りし、今現在のお気持ちを伺いました。

このほど、調査結果の一部がまとまりましたのでお知らせします。

なお、調査にご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様には厚く御礼を申し上げます。

●調査方法

二〇歳以上の町民の中から、旧町村別で各年代毎の一〇・五％の方々を無作為で選び、合計七〇〇人に調査をお願いしました。

その結果、四二四人から回答いただき、回答率は六〇・六％となりました。

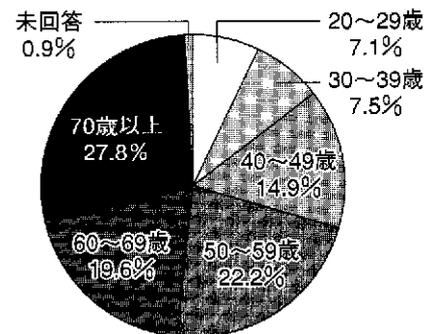
●調査結果

合併の必要性など十一項目についてお伺いしましたが、そのうち十項目の結果について今回お知らせします。なお、残りの一項目（合併についての意見）については三月号でお知らせします。

※文および表中「N」は、全回答者数を表します。

問1 あなたの満年齢は。(平成14年1月1日現在)

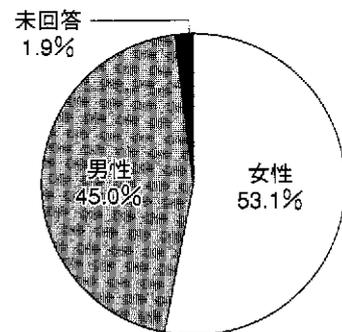
N = 424人		
20～29歳	30人	7.1%
30～39歳	32人	7.5%
40～49歳	63人	14.9%
50～59歳	94人	22.2%
60～69歳	83人	19.6%
70歳以上	118人	27.8%
未回答	4人	0.9%



◎調査票の配布数は年代別の人口に比例していることや、比較的年齢の高い方の回答率が良かったため、回答者のうち、60歳以上が47.4%、40～50歳代が37.1%、20～30歳代が14.6%となっています。

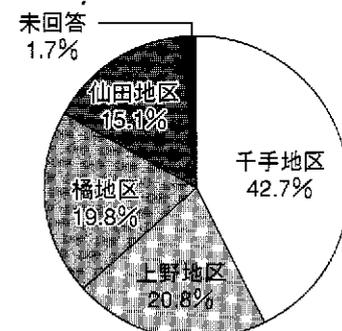
問2 あなたの性別は。

N = 424人		
女性	225人	53.1%
男性	191人	45.0%
未回答	8人	1.9%



問3 あなたが現在住んでいる地区は。

N = 424人		
千手地区	181人	42.7%
上野地区	88人	20.8%
橘地区	84人	19.8%
仙田地区	64人	15.1%
未回答	7人	1.7%

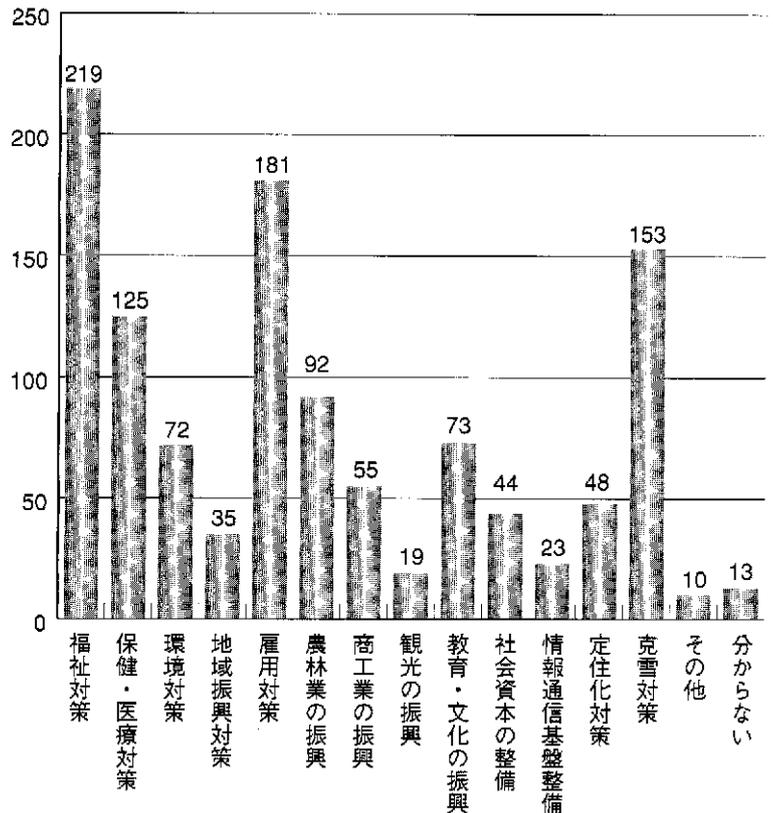


◎調査票の地区別の配布数は千手320(45.7%)、上野139(19.9%)、橘147(21.0%)、仙田94(13.4%)、合計700(100.0%)です。回答者の地区別割合はおおむね調査票の配布割合に依っています。

●真剣に考えよう合併について●

問4 今後の行政サービスに望むこと、改善してほしいことはどんなことですか。(3つまで選んでください)

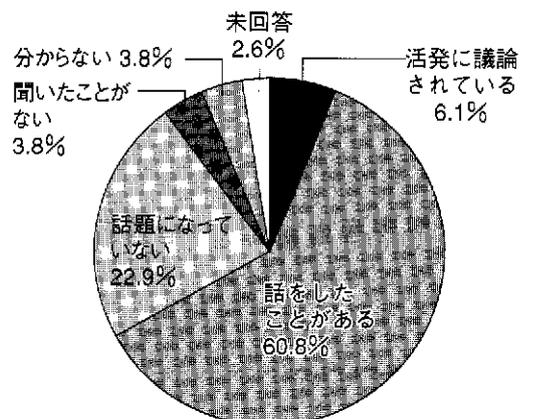
N = 424人		
福祉対策	219人	51.7%
保健・医療対策	125人	29.5%
環境対策	72人	17.0%
地域振興対策	35人	8.3%
雇用対策	181人	42.7%
農林業の振興	92人	21.7%
商工業の振興	55人	13.0%
観光の振興	19人	4.5%
教育・文化の振興	73人	17.2%
社会資本の整備	44人	10.4%
情報通信基盤整備	23人	5.4%
定住化対策	48人	11.3%
克雪対策	153人	36.1%
その他	10人	2.4%
分からない	13人	3.1%



◎「福祉対策」が51.7%と最も高く、以下「雇用対策」が42.7%、「克雪対策」が36.1%と続いています。

問5 家庭や職場など、あなたの周りで市町村合併が話題になっていますか。

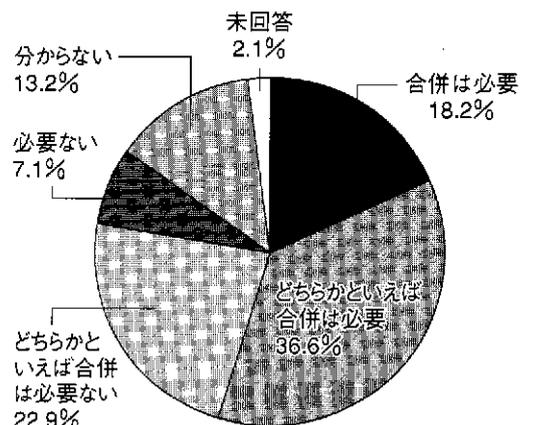
N = 424人		
活発に議論されている	26人	6.1%
話をしたことがある	258人	60.8%
話題になっていない	97人	22.9%
聞いたことがない	16人	3.8%
分からない	16人	3.8%
未回答	11人	2.6%



◎「活発に議論されている」と「話をしたことがある」を合わせると66.9%、「話題になっていない」と「聞いたことがない」を合わせると26.7%となっています。

問6 全国的に市町村合併の動きが見られますが、あなたは、川西町が他の市町村と合併する必要があるとお考えですか。

N = 424人		
合併は必要	77人	18.2%
どちらかといえば合併は必要	155人	36.6%
どちらかといえば合併は必要ない	97人	22.9%
必要ない	30人	7.1%
分からない	56人	13.2%
未回答	9人	2.1%



◎「合併は必要」と「どちらかといえば必要」を合わせると54.8%、「どちらかといえば必要ない」と「必要ない」を合わせると30.0%、「分からない」と回答された方は13.2%となっています。

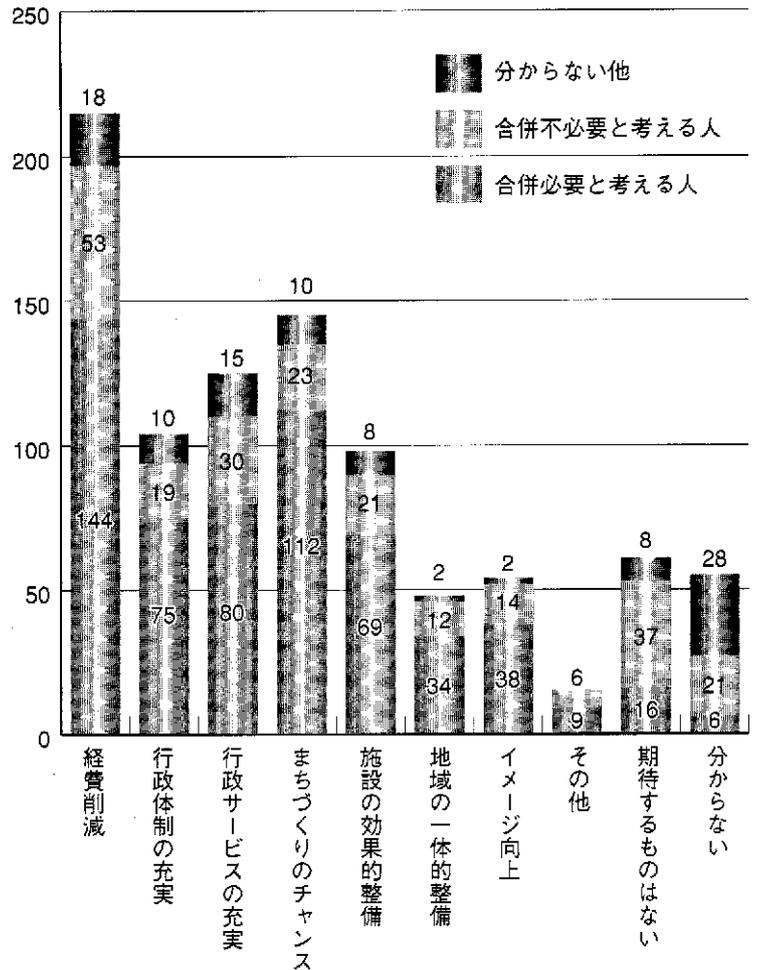
問7 市町村合併に期待するものはどのようなことですか。(3つまで選んでください)

N = 424人		
経費削減	215人	50.7%
行政体制の充実	104人	24.5%
行政サービスの充実	125人	29.5%
まちづくりのチャンス	145人	34.2%
施設の効果的整備	98人	23.1%
地域の一体的整備	48人	11.3%
イメージ向上	54人	12.7%
その他	15人	3.5%
期待するものはない	61人	14.4%
分からない	55人	13.0%

◎全体の回答では「経費削減」が50.7%と最も高く、「まちづくりのチャンス」が34.2%で続いています。

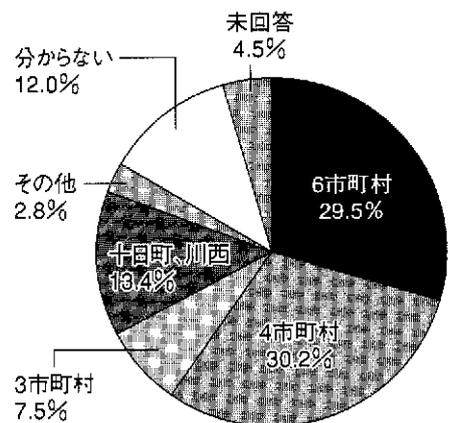
◎問6で「合併は必要」又は「どちらかといえば必要」と答えた方では「経費削減」が144人(62.1%)と最も多く、「まちづくりのチャンス」が112人(48.3%)で続いています。

◎問6で「どちらかといえば必要ない」又は「必要ない」と答えた方では「経費削減」が53人(41.7%)と最も多く、「期待するものはない」が37人(29.1%)で続いています。

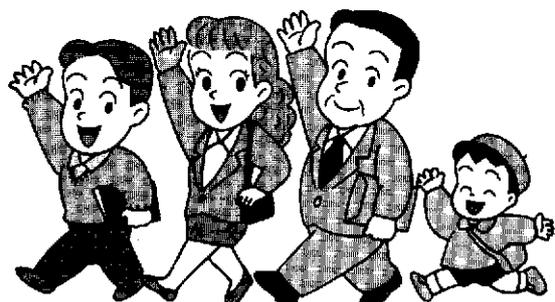


問8 市町村合併をする場合、どの市町村との合併が望ましいと思いますか。

N = 424人		
6市町村 (十日町、川西、津南、中里、松代、松之山)	125人	29.5%
4市町村 (十日町、川西、津南、中里)	128人	30.2%
3市町村 (十日町、川西、松代)	32人	7.5%
十日町、川西	57人	13.4%
その他	12人	2.8%
分からない	51人	12.0%
未回答	19人	4.5%



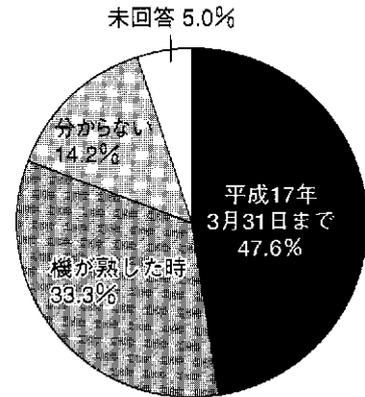
◎十日町、川西、津南、中里の4市町村の合併が望ましいと思う人が30.2%で最も高く、これに松代、松之山を加えた6市町村でと思う人が29.5%で続いています。



●真剣に考えよう合併について●

問9 また、合併するとしたらいつ頃が良いと思いますか。

N = 424人		
平成17年3月31日まで	202人	47.6%
機が熟した時	141人	33.3%
分からない	60人	14.2%
未回答	21人	5.0%



◎「平成17年3月31日（合併特例法により、県の支援が受けられることになる最終日）までが良い」と答えた人が47.6%と最も高く、「平成17年3月31日を過ぎても構わない。機が熟した時で良い」と答えた人が33.3%、「分からない」と答えた人が14.2%と続いています。

問10 市町村合併に不安を感じること、または合併が不要と考えられる理由はどのようなことですか。（3つまで選んでください）

区 分	問6で、「合併は必要」又は「どちらかといえば合併は必要」と回答した人 合併必要N=232			問6で、「どちらかといえば合併は必要ない」又は「必要ない」と回答した人 合併不必要N=127			問6で、「分からない」と回答した人及び未回答の人 分からない他 N=65			合 計 N=424	
	今のままで問題ない	10人	4.3%	17人	13.4%	5人	7.7%	32人	7.5%		
広域的協力で対応できる	30人	12.9%	38人	29.9%	8人	12.3%	76人	17.9%			
住民の意見が届きにくくなる	121人	52.2%	74人	58.3%	17人	26.2%	212人	50.0%			
きめ細かなサービスが受けにくくなる	79人	34.1%	39人	30.7%	16人	24.6%	134人	31.6%			
行政サービスが低下、負担増	72人	31.0%	57人	44.9%	25人	38.5%	154人	36.3%			
地域の個性が薄れる	45人	19.4%	34人	26.8%	6人	9.2%	85人	20.0%			
合併後の中心地だけ栄える	91人	39.2%	68人	53.5%	20人	30.8%	179人	42.2%			
その他	6人	2.6%	5人	3.9%	3人	4.6%	14人	3.3%			
不安はない	30人	12.9%	2人	1.6%	0人	0.0%	32人	7.5%			
分からない	5人	2.2%	5人	3.9%	15人	23.1%	25人	5.9%			

◎全体では、「市町村の規模が大きくなると、住民の意見が行政に届きにくくなる」が50.0%と最高で、以下「合併後の中心地だけ栄えるのではないか」が42.2%、「行政サービスが低下したり、住民負担が増える」が36.3%、「お互いに顔の見える、きめ細かなサービスが受けにくくなる」が31.6%と続いています。

◎合併を必要と考える人や、不必要と考える人など個別に見ても全体で4位までに入った事項が、それぞれ上位にあります。

●合併問題を地域の皆さんに直接説明し、率直なご意見を伺うための懇談会を開催します。会場、日時等は次のとおりですので、都合のよいところにおいでください。大勢のご参加をお待ちしております。

3月12日(火) 千手地区 総合センター
 13日(水) 仙田地区 克雪管理センター
 25日(月) 上野地区 上野コミュニティセンター
 26日(火) 橋地区 高齢者コミュニティセンター

時間はいずれも午後7時から。

問11 市町村合併についてご意見がございましたらお聞かせください。

N = 424人		
意見あり	158人	37.3%
意見なし	266人	62.7%

※寄せられた意見は次号(3月号)で紹介します。

どうなるの!? 小正月



霜条の鳥追いには外国からの見学者もありました (13日)

などがあるようです。鳥追いは、雪で作った洞(鳥穴とかほんやらどうと呼びます)に子どもたちが集まり、中で餅や甘酒などを飲食したりゲームや遊びを楽しむとともに、拍子木を打ちながら「あの鳥どつから追って来た」と鳥追い唄をうたって村中をまわって歩くもので、一月十四日の夜に行われるのが通例でした。この鳥追い行事は、子どもの減少などで実施するところが少なくなっています。

小正月行事が揺れています。従来一月十五日とされてきた成人の日が、「国民の祝日に関する法律」の改正により、一月の第二月曜日(いわゆるハッピーマンデー)とされたことに伴うものです。今年、一月十四日が第二月曜日で成人の日。十五日は平日の火曜日となったため、小正月行事を十三日と十四日に行うところが多かったようです。それでも、あくまでも十五日にこだわって実施するところもあり、集落や地域によって対応は様々です。

多様な楽しい催し

川西町周辺の小正月行事には、鳥追い、さいの神、もぐらもち追い



今では珍しい「もぐらもち追い」を実施している野口 (14日)

もぐらもち追いは、十五日の朝に、横槍(よこづち)にひもを付けて、「もぐらもちはどこへ行った」とうたいながら家の周りを引きずってまわるもので、今ではほとんど見られなくなりました。

やわらでやぐらを組み、しめ縄や古いお札、書き初めなどを付けて一緒に燃やすのです。豊作祈願、厄払い、年占いなどの意味が込められ、その火で焼いたスルメや餅を食べると無病息災でいられるといわれています。長く途絶えていたところも復活したりして、最近では実施するところが増えていきます。



最近、燃やす材料(特にワラ)の確保が容易ではなくなってきました (14日/山野田)



「あくまでも15日にこだわります」という上野のさいの神

どちらの行事も、作物を鳥やモグラなどの被害から守ろうと、この時期に追い払う行事をして豊作を祈る意味が込められていました。さいの神は、どんと焼き、ドウロクジン焼きなども呼ばれ、竹



室島では見事なスルメの花が咲きました (14日)

「小正月」こそ本当の正月!

そもそも、小正月とは何なのでしょうか。

「広辞苑」によると「旧暦の正月十五日、或いは十四日から十六日までの称。元日を大正月というのに対する。小年。二番正月。若年。」とあります。

もともと、日本人は、満月を一日とする暦を持っていましたが、今から一三〇〇年も昔のこと、朝廷は、中国から新月(闇夜)を一日とする暦(旧暦)を導入しました。その際、庶民はお上(朝廷)が決めた新しい正月を「天朝様の正月」として格式張った日と位置づけ、従来からの楽しい催しは、小正月として満月の日、十五日に行うようになったようです。

つまり、庶民にとって「本当の正月は小正月」だというわけです。



毎年14日に行われる大白倉のバイトウは、テレビの生中継も入り、大勢の人たちでにぎわいました

神様も「へっける」?

こうした長い歴史と習慣によって引き継がれてきた小正月行事も、単純に「三連休を作ろう」という、中央、あるいは都市の論理によって危機に瀕しています。

「成人の日だから休みなのではなく、小正月を休みにするために成人の日を当てたことが忘れられている」「体育の日や海の日と一緒に考えること自体がおかしい」「国会で、地域の実情を調べもしないで決めたことにあきれ果てる」「いくら学校が休みになっても、大人が休みでなければ行事ができない」等々、現場での声は、「一月十五日を小正月休みとして復活してほしい」という声にあふれています。

「だいたい、祭りの日が毎年変わったんじゃ、神様だってへっけて、御利益がなくなるこつお」。…地域の行事全体に言えることかもしれないね。

一番古い高倉ムラ

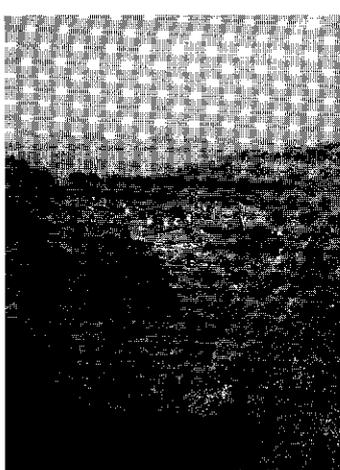
仙田の渋海川沿いの室島で、国道四〇三号から分かれ、南へ三キロほど登っていくと高倉集落がある。

集落に東から覆いかぶさるように関田山脈の急崖が迫っている。地味の良いところだから、高倉と呼んだものであろうかという人もあったが、高いクラ(崖)を仰ぐところからの呼び名であろう。

崖下に大清水・新田・浦山などの地名が順に続いているのは、水田開発の進行を示しているのかも知れない。ムラの草分けと伝える高橋宗家では、祖先が大清水を開いて落ちついたのがはじまりと語っている。

現在の交通環境からすれば、不便そのものの位置にあるが、そのことがスバリ村づくりの古さを教えてくれるし、仙田郷では、最も古いムラであるといわれる。

ずっと昔は、東頸城の片桐山・滝沢(松代町)から峯越えしてくるのが通り道であり、小脇から尾根



「川西町のスイス」ともいわれている高倉の景観

保二年(一六四五) 絵図に高倉村五二石余と記載され、天和三年(一六八三)検地帳には、総高六一石余、田が二町歩余に屋敷三反三畝余と畑(山畑を含む)六町歩余とある。屋敷

づたいに登ってくる道もあった。いつの頃か、滝沢からくる道の途中に山住みの人たちが、小屋掛けして一時的に住むようなことがあったという。乱暴したり害を加えるようなことがなく、穏やかな人たちだったと伝える。山住みの人というのは、山窩(か)でもあったのだろうか。

十日町方面へは、鷹羽峠を越えて樽沢や浅川原へ出て信濃川を越えた。明治・大正年代の青年たちは、江戸稼ぎに出て一人前の若い衆といわれたら、この道をたど

の口数が一一で、うち退転と傍書したものが二口あるので、当時は九軒であつたらしい。

おらむらの話 (第十回)

上野 上村政基

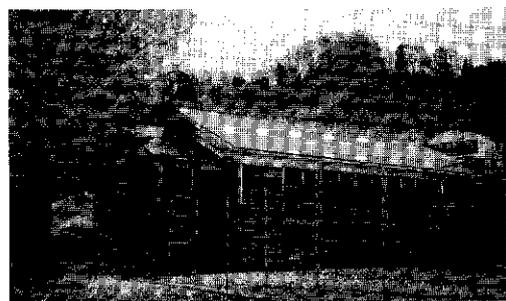
元禄七年(一六九四)改村鑑に戸数一〇軒、人数一〇三人、馬五匹とある。一戸平均の人数が多いことと、田・畑の割合などを見ると、当時の山村生活が想像される。

鎮守十二社の維持にあたる宮田組と呼ばれる一〇軒があり、宮田から収穫する米で鎮守やムラの維持運営に充てていたが、この一〇軒は、高橋・斎木氏の草分け的な家々であつたものだろう。村の

重立ち衆と呼ばれ、村自治の柱になつていた。

明治四十二年には、七八軒・四八一人の大村であつた。昭和初期には八二軒の最高を記録した。八〇戸を超えると村の力では賄い切れなくなるといって、分家を出すときの村極めを定めたりしていた。しかし、昭和三十年代からの過疎現象に追われて挙家離村が続出し、昭和五十三年には三四軒となり、平成十四年現在では一二軒と激減した。

「学校を卒業すると青年会に入る。青年仲間には五〇人もいたし、女子



住時を偲ばせる旧高倉小学校の体育館(現高倉ぶなの家)

高倉の天狗さま

う声が出た。大学教授・医師・タレントなどに加えて外国人の参加もあり、四十八年には国際村と呼ばれる二六戸が設けられた。

国際村の人々は、時あるごとに高倉を訪れて親しく交流した。あるタレントは、高倉小学校校歌をつくり、「先祖のめぐみに包まれて育つ心のきよかれと」と書いた。

明治の中頃、沖立の地主の家に、高倉から来た作若(せきわか)衆がいた。田んぼで仕事をしていたとき、何かに引き上げられるような気がすると、信濃川スレスレに飛んだあと、高くあがって、苗場山まで連れていかれた。

そこには、変わった様子の人たちがいて声を掛けた。野草みたいなものや、なんだか分からないものを食べさせられた。どれも強い匂いがして閉口したが、自然に馴れた。

薬草のことやら、いろいろな術を教えられ、何日かして、再び空を飛んで帰してもらった。

村に落ちついてから、身体の具合が悪い人に薬草を飲ませて治療したり、遠く苗場山に祈って行方不明の人を探してやったりして、人々から頼りにされた。

「高倉の大狗さま」と、呼ばれて評判の高い人だった。

高倉の国際村

昭和四十四年の無医村医療調査団の来村がキッカケとなり、高倉の自然環境の良さや人情の温かさにひかれて、別荘を建てたいとい

青年もそのくらいだった」「青年会は、上ミ・中・下モの三組に分かれて、いろいろな活動をした」と、昭和三十三年の民俗調査で老人たちから聞いた。

また、「高倉小学校は尋常科だったが、皆が元気で、何をするにも活気があつた」「高等科になると室島校へ通学した。そのころは車が通れないような道で、素足にワラジを履き、桐油合羽を着て行った。冬の雪道は大変だった」とも語ってくれた。

その高倉小学校も昭和六十一年に仙田小学校へ統合され、いま学齢児童はひとりもいなくなった。

昭和四十四年の無医村医療調査団の来村がキッカケとなり、高倉の自然環境の良さや人情の温かさにひかれて、別荘を建てたいとい

ご存じですか！ペイオフ凍結解除

ペイオフとは

今まで苦勞して貯めたお金を、あなたはどこに預けていますか。ほとんどのの方が金融機関に預けていると思いますが、もし金融機関の破たんなどにより、あなたの大切な財産が一瞬のうちになくなってしまうたら大変なことです。

そのようなことをガードするために、政府・日銀・金融機関の共同出資により「預金保険機構」が昭和四十一年に創設されました。

銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関は、この「預金保険機構」に加盟し保険金を積み立てているため、もしも破たんすることがあっても限度額があるものの、

預金の保護はこうなる!

	預金保険の対象		預金保険の対象外 外貨預金、譲渡性預金、元本補てん契約のない 金銭信託、金預債(保護預り以外のもの)
	【決済性預金】 当座預金、普通預金、別設預金	【定期性預金など】 定期預金、定期積み金、貯蓄預金、元本補てん契約付き金銭信託、金預債(保護預り)など	
例えば...	普通預金 200万円	定期預金 1400万円	
2002年3月末まで	200万円+利息 (全額保護)	1400万円+利息	
2003年3月末まで	200万円+利息	1000万円+利息	400万円+利息
2003年4月以降	200万円+利息	800万円+利息	600万円+利息

普通預金と定期預金の元本合計
1000万円までとその利息

ペイオフ凍結解除

あなたの預金を保護することができなくなるのです。このような預金者を保護する仕組みをペイオフ制度といいます。

今までペイオフが実施されたことは一度もありません。なぜかというところ、政府の「預金は全額保護する」という方針に基づいた特別措置により、今までは預金の全額が保護されてきました。

しかし、この特別措置は、本来昨年四月解除だったものが一年凍結延長され、今年の四月に凍結解除となります。

ペイオフの凍結解除は、今年の四月と来年の四月の二段階で進みます。

今年の四月からは、まず定期預金が全額保護の対象から外れ、来年の四月からは、普通預金や当座預金など決済性預金も全額保護されなくなります。

凍結解除後

の四月からは、定期預金の一千万円と、その利息分は保護されますが、万が一預金している金融機関が破たんした場合は、一千万円を超える部分の一部と利息については、戻らない恐れがあります。行き過ぎた心配は不要ですが、「預金は絶対安全」という時代は終わりを迎えることとなります。

自己責任で金融機関を選ぶ

預金者としても今後は、金融機関の経営や金融機関が発行する資料に目を向けて、自己責任でお金の預け先を選ぶ必要が生じてきます。

詳しい内容については、最寄りの金融機関にお尋ね下さい。

平成14年度 農業標準賃金



男・女の別なく一律
一日当たり七千六百円

農業委員会では、今年四月一日から適用の農業標準賃金を決めました。

これはあくまでも標準賃金です。作業の内容などにより、額む人頼まれる人がお互いに納得のうえで対応してください。

募 集

知的障害者授産施設の開設と入所者の募集について

- 施設名 なごみの家 第二分場
- 設置場所 上野甲一〇七四番地 十日町農業協同組合上野支店三階
- 設置主体 社会福祉法人 あかね会
- 開設予定日 平成十四年四月一日
- 定員 十三人
- 入所対象者 平成十四年三月三十一日現在において、満十五歳以上の者
- 申込期限 定員になり次第締め切りとし、定員を超えた場合は待機扱いとする
- 申し込み・問い合わせ先 役場 住民福祉課福祉係(☎68-311)

教室・講演

「Hクッキングヒーター」体験料理教室

- とき 二月二十二日(金) ●内容 桜寿司ほか ●ところ 東北電力十日町営業所クッキングスタジオ「えぶろん」 ●募集定員 十八人 ●参加費 五百円 ●持ち物 エプロン ●申込締切 二月十八日(月) ●申込先 東北電力十日町営業所お客さまセンター(☎213107)

心の健康づくり講演会

- 日時 二月十五日(金)午後二時～三時三十分 ●会場 橋高齢者コミセン ●講師 中条第二病院 須賀良一先生 ●内容 高齢者の心の健康について ●その他 申し込み不要、介護用品の展示も行います ●問い合わせ先 保健課健康推進係(☎68-3111(内線235))

新潟県の最低賃金

最低賃金の名称	最低賃金額	
	日 額	時間額
新潟県最低賃金	5,124円	641円
産業別最低賃金	最低賃金額	
	日 額	時間額
電気機械器具製造業 (電球製造業及び電気計測器製造業を除く)	5,897円	738円
各種小売業	5,620円	703円
自動車(新車)、自動車部分品・附属品小売業	5,870円	735円

○最低賃金の時間額はパートタイマーなど時間給制の労働者に、最低賃金の日額はそれ以外の労働者に、それぞれ適用されます。

新潟労働局、労働基準監督署

いよいよスタート

完全学校週五日制!

二十一世紀を担う子どもたちの
健やかな育成をめざして
地域ぐるみで協力を一



家庭や地域社会において

学校週五日制は、学校、家庭、地域社会での教育や生活全体の中で、子どもたちに「生きる力」をはぐくみ、健やかな成長を促すものとして平成四年九月からスタートし、段階的に進められてきました。平成十四年四月からは毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が実施されます。

学校週五日制のめざすもの

学校週五日制は、学校、家庭、地域社会の役割りを明確にし、協力して、豊かな学習・体験活動を通して、子どもたちに提供することを通して、子どもたちが自分で考え行動できる力や周りの人を思いやる心、健やかな身体など「生きる力」をはぐくむことを目的としています。

学校においては、

児童・生徒がじっくり学ぶことを通して、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び自ら考える力を育てます。

学校週五日制によって、子どもたちの家庭や地域社会で過ごす時間が増えることから、子どもたちに基本的な生活習慣や生活能力を身につけさせ、思いやりの心や善悪の判断、社会生活上のルールなどを守る心を育てることが必要です。

そのため、わたしたち大人が互いに知恵や力を合わせ、それぞれの持ち味を生かしながら、子どもたちと一緒に活動するなど、学校、家庭、地域社会全体で子どもを育てる体制づくりを進めていくことが大切になってきています。

こうしたことから

学校週五日制は、

子どもの望ましい人間形

成をはぐくむとともに、

私たち大人も共に成長し

ていく場でもあります。

育児・介護休業法が改正されました

平成十四年四月一日全面施行

急速に少子化が進むなかで、働きながら子どもを産み、仕事と子育ての両立の負担を軽減することは重要な課題となっています。

そこで、仕事と家庭の両立支援対策を充実するため、育児・介護休業法が改正されました。

改正法のポイントは次のとおりです。

- 一、育児・介護休業の申出や取得を理由とする解雇その他不利益取扱いの禁止、(現行)解雇のみ禁止
 - 二、育児または家族介護を行う労働者の時間外労働の制限(一か月二十四時間、一年百五十時間が上限)、新設
 - 三、勤務時間の短縮等の措置義務の対象となる子の年齢を三歳未満まで引き上げ(現行)対象となる子の年齢は一歳未満
 - 四、子の看護のための休暇制度の導入(努力義務)、新設
 - 五、転勤をさせる場合、労働者の育児または家族介護の状況への配慮(新設)
 - 六、職業家庭両立推進者の選任(努力義務)、新設
- ▼改正法についてのお問い合わせは、新潟労働局雇用均等室(☎025-2334-5928)へ。



子どもたちも夢中になれる企画が盛りだくさん

マルチメディアフェスティバル'02

3月15日(金)~17日(日)
十日町情報館で開催

情報セキュリティセミナー

三月十五日(金)
午後一時三十分~四時四十五分

●ネットワーク時代のセキュリティ対策—ウイルス/不正アクセスの最新状況と対策—
講師・大野 晋氏(IPAセキュリティセンター)

●インターネットのトラブルから身を守るために

講師・桑子博行氏(AT&Tグローバルサービス株式会社)

◆受講希望者は、3月1日以降、十日町情報館(☎50-5100)へあらかじめお申し込みください。(先着百名)

オリジナル名刺づくり・カレンダーづくり

三月十六日(土)~十七日(日)

企業展示など

また、第一回越後妻有ホームページ大賞(仮称)コンテストも開催されます。詳しくは、ホームページ

<http://www.echigo-tsumari.jp/html/>をご覧ください。

(入場無料)

爽快に汗！ 恒例の元旦卓球開催

1月1日、総合体育館で川西町元旦卓球大会が開催されました。これは、川西町卓球協会（渡辺一治郎会長）の主催で毎年開かれているもので、今年で17回を数えます。

「お正月からスポーツで汗を流そう」と始められたこの大会は、元旦の恒例行事として定着し、今年は、関東や県内各地から過去最高の約170人が参加しました。

高校総体や国体出場選手も参加するとあって、地元からの参加意欲も高いようです。

会場の総合体育館では、開会直後から公式戦さながらの熱戦が繰り広げられ、外のお正月気分とは別の世界が展開されていました。

大会レベルも年々上がり、地元選手が上位に進出する場面が少なくなっていますが、渡辺会長は、「これも、幅広い選手層から有力な選手が参加しているからです」と、大会の充実ぶりに満足の様子でした。

なお、川西町の上位成績の選手は次の通りです。（敬称略）

【一般男子】	2位	山口政志	（十日町高校）
	3位	根津英和	（川西クラブ）
【一般女子】	3位	池竹祐子	（川西クラブ）
【カデット男子】	3位	須藤雅人	（川西中学校）
	3位	数藤僚太	（川西中学校）
	3位	村越準也	（川西中学校）



過去最高の参加者があった元旦卓球

新たな気持ち みなぎる！

一月六日、総合体育館で町消防団（清水三団長、団員三五〇人）の出初式が行われました。団員は、田口町長や清水団長から姿勢、服装などの点検を受けて、気持ちを引き締めました。

なお、平成十三年中の町で発生した火災は三件（建物一件、林野一件）で、前年に比べて六件減っています。が二人の命が失われています。冬は、暖房などで火を使う機会が増えています。取り扱い、後始末に注意しましょう。

特に、ストーブの消し忘れには気をつけましょう。



引き締まった空気の中で集められた消防出初式の「点検」

生涯学習だより ⑪

わが公民館

町の公民館をご存知ですか。公民館と聞いてなにを連想しますか。

公民館は、地域住民のために実生活に役立つ教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため設置されており、すべての市町村に公民館があります。

川西町の公民館は、中央公民館と千手地区、上野地区、橋地区、仙田地区にそれぞれ分館を置いて、住民一人ひとりが生涯にわたって潤いと生きがいを持って充実した生活ができるよう、各種の事業を実施し、学習や体験の機会を提供しています。

公民館の事業は、中央公民館では、家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育、視聴覚教育、芸術文化の推進など、六講座二十三教室を開催し「人間性豊かな人づくり」「連帯感あふれた地域づくり」のため活動しています。また、四地区の分館では、地区と連携し地域に根ざした分館活動を行っています。



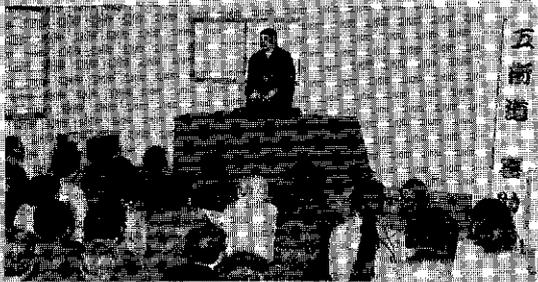
しめ縄づくり（仙田分館）

近年、国際化、情報化、高齢化、所得水準の向上や自由時間の増大など、社会が急激な変化で進んでいます。また、平成十四年度から完全学校週五日制が実施され、学びの場、体験の場、遊び場づくりなど土曜、日曜日における子どもたちへの多様な活動機会の場の提供等、公民館の果たす役割と期待

は今後ますます高まっています。常に時代を見据えた公民館づくりを目指し、公民館のこれからの行方が、住民の皆さん一人ひとりの生き方に関わっていけるようにあるにはどうやればよいのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

初笑いが健康の秘訣！



すっかり定着した上野の寄席楽集

1月12日、上野集会所で恒例の初笑い寄席楽集が開催されました。これは、「地元で生の落語を楽しもう」と、上野青年会（土田靖雄会長）が地区公民館（上村功一館長）と共催で9年前から行っているもので、今回で10回目となりました。

この日は、五街道喜助、柳家小太郎の二人の断家を迎え、本格的な古典落語を楽しみました。

参加者の一人は、「毎年楽しみにしてらんです。笑うと身体の具合もよくなるぜの（笑）」と足どりも軽く会場へ入っていました。間もなく、会場からは大爆笑が響いてきました。

家宝公開！

「龍馬伝説」を テレビで紹介

一月十一日、T e N Yテレビ新潟のニューステ集番組で、川西町に伝わる龍馬伝説が取り上げられ、放送されました。

これは、今年の干支「午（うま）」にちなんだ話題や取り組みを特集として紹介するシリーズの一環として、同テレビ局が町で取材したものを放送したものです。

伝説の舞台となった町のたたずまいのほか、紙芝居による内容紹介や、龍馬を育てた水口沢の吉左右衛門の子孫と伝えられる田中町の太田正志さん（56）宅に保存されている、龍馬ゆかりの品々も紹介されました。

太田さんのお宅に保存されているのは、龍馬を上杉謙信に献上した見返りに、褒美として受けたという「朱塗りの杯」一対と、龍馬が付けていた「くつわ」。龍馬をつないでいた「駒つなぎ石」、「石のかいば桶」などで、これらは太田家の家宝として代々大切に守られてきました。

太田さんは、「緊張したども、龍馬のことを大勢の人から知ってもらう機会になって良かった」と取材を受けた感想を語ってくれました。

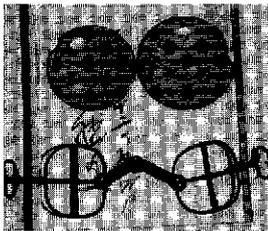
《龍馬伝説のあらすじ》
今から四五〇年も昔のこと。水口沢村の吉左右衛門が馬を連れて草刈をしていると、突然、雷に打たれ、馬が身ごもります。間もなく今まで見たこともないような駿馬が生まれ、「龍馬」と名づけられます。龍馬の評判を聞いた上杉謙信はこれを譲り受け、「放生」と名づけて愛馬とします。

放生は川中島の合戦などで大活躍し、謙信はこの馬を献上した吉左右衛門に朱塗りの杯一対と米十四石、併せて馬市を開くことを許します。

これが千手市の始まりで、むらの「賑わい」の基になりました。



テレビ局の取材を受ける太田正志さん(左)



上杉謙信から拝領したといわれる盃(上)と龍馬がつけていたというくつわ(下)

だんだんとーモ！ ⑥

「河童庵」の巻

「ここは、日本昔話の世界ですよ。藤井崇さん(76)は、良く通る声で第一声をこう語りました。

藤井さんは、発電所の圧力容器や高速道路の設計を手がける設計会社や、不登校児を対象にした塾の経営を経て、平成十年十二月に静岡県熱海市から当町赤谷に移りました。



当初、住宅(茅葺き民家)は雨漏りがひどく、とても住めるような状態ではなかったようですが、「梁や柱の材料の確かさ、リズムカルな手斧跡を見たとき『これは匠の家だ』と直感して、自分で直そうと決意しました」と、屋根や内装、建具に至るまでご自分で修理したということです。

「幸せ・不幸せは自分の心で決まる」というのが信条です。「雪は大変だ」というのがこの常識のよう

交流の時代になるだろうから②社会的には新潟の移り変わりに関わりたいから③個人的には焼き物工房を運営するという自分の夢を実現させたいから、ということですが、「前に川(浜海川)が流れて、後に鎮守様、おまけにとんでもない大木(大ケヤキ)のある、昔話のシーンに出てくるようなこの立地がすっかり気に入ってしまいましたね、理屈なんか後でつけたんですよ(笑)」というのが本音

ですが、「都会は朝から暖房で身体を暖める。ここは朝から身体を動かして暖める」と考えれば、ずっと健康的で豊かな気持ちになるんじゃないでしょうか。藤井さんは今、地域のお年寄りたちと「夢と目標」を持つ生活づくりに取り組んでいます。

「何にでも首を突っ込んでハマってしまうので、本命の河童庵の運営はまだまだ」と、奥さんの幸子さんは笑顔で見守ります。

雪国体験の参加者 半数が外国人！

一月二十六日、仙台体験交流館と松葉荘を会場に「雪国体験は人好き練」と銘打ったイベントが実施されました。これは、雪有地域の観光振興と、ほくほく線の利用増加を目的に越後妻有観光協議会とほくほく線、JR東日本が開催したもので、川西町のほくほく打ち体験園中実探し「雪」をテーマに、口揃って実施されました。

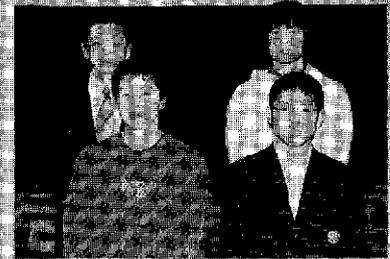
前都圏などから二十二人の参加があり、そのうち十一人は台湾からの参加者でした。参加者のひとり劉信良さんは、「台湾は雪がほとんど降らないので楽しみにしてきました。川西町のコースが一番気に入りました」と参加の動機を語り、自分で打ったそばを満足げに頬ばっていました。



親子でそば打ちを楽しむ台湾からの参加者（仙台体験交流館）

スキー大会出場選手激励

スキー選手団、 全国大会へ 星名さん8回目の 国体!



右上から時計まわりに、平野君、山崎君、登坂君、星名さん

今年も各種スキー大会県予選会が各地で開催され、町内で4人の選手がそれぞれの激戦を勝ち抜き、全国大会への切符を手に入れました。

2月5日から青森県大鰐町で行われた、第51回全国高等学校スキー大会には、平野高行くん（四郎兼ノ十日町総合高3年）、登坂竜也くん（赤谷ノ同高2年）、山崎徹くん（寺ヶ崎ノ津南高2年）がクロスカントリーに出場し、町民に夢と希望を与えてくれました。

2月20日から妙高高原町で行われる、第57回国民体育大会冬季大会スキー競技会には、県大会で優勝した星名知彦さん（沖立ノ役場勤務）がノルディックコンバインド（複合）に出場します。（通算8回目）

今年も出動！ 夢雪隊

川西町の若者を中心に組織されているスノーボランティア「夢雪隊」（上村保弘代表）の活動が始まりました。

夢雪隊は、要援護世帯などの屋根雪を除雪するボランティア組織



カヤぶき屋根の雪掘りには熟練が必要です(白倉隊)

ズームアップ役場

No.10

おいしい話

楽しそう

な表情のメンメン。どうも選挙事務の打ち合わせでも年頭の訓示でも、はたまた新年会でもないようです。



座っている職員をよく見ると女性の顔、若い顔が目立ちます。管理職の顔は一人も見えません。そう、これは職員労働組合の、年に数回ある学習会でのひとコマ。

「ビューティフルライフ…心の豊かさとは」と題して隣の僧侶から講演をしてもらいました。集まった職員は約四十人。熱心にメモを取る人、うなずく人、時折笑みもこぼれたりして結構充実しているように見受けられます。

講演前に配られる弁当が目当てで出席した、なんていう不心得者はいませんか、少ししか…

残業が優勝を呼ぶ!?

みんな帰った事務室で一人黙々とパソコンに向かう職員。ゲームに熱中か？ いやいや、ちゃんとまじめに仕事をしているところですのでご心配なく。

実は、この職員、このほど行われた新潟県スキー選手権大会ノルディックコンバインド（複合）で優勝し、今月行われる国民体育大会に出場することが決まったばかり。（まちの話題参照）

とはいえ、受け持つ仕事が減るわけではなく、大会出場に向けて、トレーニングを兼ねた？ 残業をこなしているところ。…いや、もちろん、ほんとのトレーニングは、帰宅後人知れずやっています。



役場には、スポーツでも文化でも、ほかにもユニークな特技を持った職員がいます。

中でも、一番多いのは、あらゆる分野の評論家だとか……。

で、平成八年に県内で初めて結成されました。

発足当初、三隊五〇人ほどだった隊員数は、現在、五隊九一人（うち女性七人）にまで増え、対象十二世帯の除雪を行っていています。

初出勤は、一月四日から七日にかけてで、五隊四四人が参加しました。

夢雪隊事務局の関口昌生さん（社会福祉協議会）は、「人数が多いように見えますが、雪の降り具合によつて急な出勤要請もしますので、対応できる人はだいたい半数くらいです。大勢で作業をするので、一軒一時間くらいで終わりますが、疲れが残らない作業量ということが、ボランティアとして続けていくための大事な点だと思います」と、参加者が増えて活動が継続しているポイントを語ってくれました。

善意

（敬称略）

福祉に
酒井 洋次（神奈川県） 十万円
金子 和男（元町） 三万円
中学校教材・備品購入に
川西中PTA 二九五、五〇〇円



かわし俳壇

高崎正風選

齊打つ母のしてゐし首貞縮
川筋に添うて冬霧濃く薄く
冬霧の底に音無き大河かな

上町 高橋 願似

やわらかに頬に皷に初時雨
立冬や会津に生れる星の数
佇みて秋の深みに居たりけり

中屋敷 金子 鉄平

芽吹き来し花びんの中の猫柳
風寒しふくら雀が二羽三羽
囲みたる新年会の鍋の湯気

野口 村越 中喜

鐘の音の余韻残れる除夜の空
大寒の今日穏やかな深雪晴

岩瀬 登坂伊智子

ドンドの火待ちある児等とスルメ
かな

朝の雪掻いて肌着を替えにけり

霜条 星名 星光

酒の座と背中合せに新茶汲む
春雨に眠れる籠の鳥なりし

元町 田畑 吉治

初春の旅の企てして楽し
南海の冬波風ぐを祈る日々

印西市 小林 徳平

書初めや永字八法筆ならし
あかぎれの指太々と傘寿妻
桜草春を待たずに咲きにけり
芽吹きたる鉢を出窓の鉢と替え

新町新田 若山 向山
霜条 蔵品ハツエ

着せ薫に寒九の雨や白牡丹
人日や厨の妻の独り言

足立区 涌井ハル子

割当ての薬を持ち寄り賽の神
暮らしにはほどよき雪の小正月

大倉 中條 石平

筆勢の紙はみ出せる書き初め
買物がせめて運動冬籠り

小白倉 江口みゆき

スキーより帰る孫等の着ぶくれて
晴天下想ふ故郷の雪の原

八王子市 松浦 サク

初写真一人が横を向いてをり
建国記念日出来も知らず休むかな

練馬区 須藤 遊人

檜風呂浸りつつ見る雪景色
グラウンドに音もなく降る雪わびし

田中 石澤 澄代

散策の道にふと見し福寿草
八海の峰きらきりと初日の出

杉並区 根津 晴代

いつもより少し長目の柚子湯かな
牙えざえと雲間の星や寒の入り

小白倉 田中 優美

目指せ禁煙！今年こそ！

「タバコは体に悪いと思ってもなかなかやめられなくて...」。今回は、そんな方にオススメの禁煙方法をご紹介します。

●禁煙十か条

- ①低タール、低ニコチンのタバコを絶対に1日1箱までにする。
- ②根元まで吸わずに、ふかすだけにして、半分吸ったら消す。
- ③情性で吸わずに、食後の一服などに限定する。
- ④どうしても吸いたい時や口寂しい時は、指だけを口に持つていき、思いきりタバコを吸う動作をする。
- ⑤それでもダメなら歯磨き、ラジカ体操、散歩などしてみる。
- ⑥職場や自宅の机に灰皿は置かない。吸ったら即片付ける。
- ⑦酒席では右手にアルコール、左手にはコップ水で、両手を常にふさいでおく。
- ⑧ビタミンC、E、ベータカロチンを多く含む食品、特に緑黄色野菜を意識して摂取する。
- ⑨タバコを吸わない人の前では絶対に吸わない。
- ⑩居酒屋、パチンコ屋などには近づかない、行かない。

●禁煙外来

県内では、長岡赤十字病院・杉本病院（長岡市）・国立療養所西新潟中央病院（新潟市）などの病院があるので、お問い合わせください。

●禁煙メールマガジン・マラソン

インターネットにて医師や禁煙成功者からのアドバイスを受けながら自分にあった禁煙方法を見つけ、実践していく方法。詳しくは禁煙マラソンホームページ <http://www.kinen-marathon.org/> をご覧ください。

禁煙には周囲からの支援、禁煙の強い動機づけを持つことがポイントです！禁煙が成功すると病気のリスクが下がり、自分、そして周りの人が喜び、お金が貯まるといいこと尽くしです。飲み会の翌日から、月の始まりからと自分なりにスタートを決めて禁煙を始めませんか！

●ニコチン置換療法

ニコチンを



休日救急医

- 2月17日 川西町国保診療所（川西町高原田） ☎68-2034
 “ 上村病院（西村田沢） ☎63-2111
 24日 第二藤巻医院（川西町上野） ☎68-2018
- 3月 3日 本町クリニック（十日町市本町3） ☎50-1160
 10日 川西町国保診療所（川西町高原田） ☎68-2034
 “ 中条病院（十日町市北原） ☎57-3018
 17日 富田医院（川西町雲野） ☎65-3161

戸籍の窓から

高砂一円満に

(田村 健 南台
星野 友紀 南台)

昇天一ごめい福を祈る

小林 英策 83 (本人) 中屋敷
金子 ヒサ 76 (千弘) 岩瀬
戸田増次郎 81 (本人) あかね園
金子 トメ 92 (和男) 元町
高橋 清信 81 (清一) 伊友
山家 ミイ 91 (直治) 木落
渡辺佳矢子 32 (孝雄) みのり団地
相馬 ハル 88 (敏夫) 木落
高橋 久子 81 (正保) 中仙田

カマクラ

小正月のことをミニ特集で取り上げたが、もうひとつ気になることがある。「かまくら」のことだ。鳥追い行事で、子どもたちがこもる雪洞のことを指して呼んでいるのだが、地域固有の名称からいえば「大間遣い」だ。



バイトウ (大白倉)

うぶ声 おすこやかに

沢口 葵 茂 上野

滋野 江梨 寿男 野口

井川 愛海 明弘 新町新田

喜多 優水 孝行 四郎兼

保坂 樹 隆史 南台

北村 好花 健一郎 東善寺

北村 好美 健一 東善寺

木村 旭 孝子 仁田

丸山 悠里 千香子 原田

西潟 竜飛 正洋 山野田生毛

(1月1日~31日届け出順)

「かまくら」というのは、秋田県横手地方で作られる雪洞を指している固有名詞で、当地方の鳥追い行事とは内容も異なっている。面白い現象がある。四十年代以下

の人たちはほとんど例外なく「かまくら」と言うが、五十代半ば以上の人たちは決して「かまくら」とは言わない。「鳥穴」「雪穴」「鳥追いどう」「ほんやらどう」など地区によって呼び方は様々だが、昔からの呼び方を知っている。

どうも、教科書のなせるわざのようだ。全国一律「かまくら」で統一してしまったため、これが頭に刷り込まれているのだ。教育の力と怖さを物語っている。

ちいさな展覧会

157

橘小学校

◀「この地球を

助けてください」
4年生 田口詩織さん



▲「きただにぜんいんしゅうごう」
1年生 共同制作

◀「和紙づくり」

6年生 涌井智仁くん



▲「「ヒエがいっぱい」ヒエ取り大変」
5年生 羽鳥絵里加さん



▲「大きくなったらケーキやさんになりたいな」
2年生 春日亜里沙さん



▲「ロシア村でハイチーズ!!」
3年生 野沢晴菜さん

(3月号は仙田小学校です)

